

平成27年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	公明党室蘭市議会
議員名	細川 昭広、砂田 尚子、柏木 隆寿
調査実施年月日	平成27年7月1日(水)
調査先 自治体名等	大阪府豊中市
調査項目	「若者の就労支援事業について」
調査目的	本市においても若者のひきこもりや健康なのに働かないニートなどが増えており、少子高齢化社会の中、市内の労働力不足解消のためにも豊中市が若者等を対象に独自に行っている就労支援事業について調査し政策に活かすため
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口:400,554人 (H26.10.1現在) 行政面積:36.60km²</p> <p>2 視察内容 豊中市・市民協働部参事兼くらし支援課長 樋谷光義氏より市が行っている①くらし再建パーソナルサポート事業、②地域就労支援事業、③無料職業紹介事業について説明をうけました。①くらし再建パーソナルサポート事業については「くらし再建パーソナルサポートセンター」を設置し外部人材(民間企業経験者)を配置し、仕事や病気、生活など日常のすべての悩みを相談でき、そこからマンツーマンで就労支援する「地域就労支援センター」や看護師、臨床心理士などの専門家によるチーム支援で本人の健康や能力、経験等を勘案し一般就労や福祉的就労、就学、トレーニングなどをサポートする「いぶきPS」、フリーターやニートなどの若者を支援する「若者サポートステーション」と一人ひとりに幅広く対応できる就労支援体制が確立され就労支援準備事業や就労訓練事業を経て市独自の無料職業紹介所やハローワーク紹介による雇用拡大につなげている。</p>
感想(まとめ) 本市へ活かせること等	<p>豊中市は大阪を代表する「ものづくりのまち、中小企業のまち」であり人口規模は違うが本市と似たような環境の都市です。くらし再建パーソナルサポート事業を開始する前年の就労支援事業・無料職業紹介事業においてはH22年実績では全体の相談者631人に対し就職者185人であり、H19年からH22年までの就職者も毎年平均170人前後だったのが、H23年は全体の相談者892人、就職者368人、H24年全体の相談者1033人、就職者386人、H25年全体の相談者897人、就職者301人、H26年全体の相談者1083人、就職者290人と平均336人が就職し若年者に限ってもH23年は相談者105人、就職者34人、H24年の相談者153人、就職者56人、H25年の相談者112人、就職者44人、H26年の相談者200人、就職者45人とH19年からH22年までの就職者平均20人前後だったのがH23年以降は平均45人が就職し目に見えて効果大だったことがわかる。これは豊中市が単に就労支援だけを目的とせず、生活困窮等にいたった原因(引きこもりや離職、健康、借金、家庭問題など)の相談を入り口に課題解決のため部署間の連携を行い最終的には無料職業紹介所やハローワークでの就労支援につなげていることが大きいと考える。本市も就労困難者、生活困窮者等の自立支援を行っているが豊中市のようによりきめ細かな対応を進め若者を中心としたひきこもり者への対応も含め取り組む必要性を感じた。</p>